

MACHI SPO KOBÉ REPORT 2020

まちづくりスポット神戸 2020年度事業報告書



きっかけ
づくり

ひとそだて
なかまづくり

協働の場
づくり



まちづくりスポット神戸登録会員

登録会員 **79** 会員 継続 70
新規 9



まちづくりスポット神戸登録会員とは？

地域のために活動するまちづくりスポット神戸の仲間です。会員になると、広報や助成金等運営に関するサポートを受けられます。また、会員同士が連携して新たな企画やプロジェクトを創ることができます。

年会費 2,000円

対象 地域で活動する個人やグループ
任意団体、NPO法人、企業など

2020年度はコロナ禍において人と人の結びつきの大切さを改めて感じた年となりました。会員へのヒアリングや相談、アンケートからも活動の原点を振り返ったという声が多く見られました。

特にコロナ禍でのリスクが高い高齢者の居場所活動を行う会員にはヒアリングを重点的に行い、コロナ禍での工夫やアイデア、行政情報を提供する等、活動者さんの気持ちをサポートできるよう心がけました。ふれあいまつりの準備会と同時開催した交流会では21団体が参加し、情報交換を行いました。今年度は新しく9つの個人と団体が会員となり、今後さらに活動の幅が広がり、新たな連携や交流が生まれることを期待しています。

2020年度登録会員のみなさん

垂水マミーズ / 一社)あるMaMaけあ / シェアスマイル / カタオカネットワーク / こもれび工房 / ポンジュール紙芝居 / Teamベジガーデン / シニアことはじめ倶楽部KOBÉ / 神戸友の会舞子方面 / 神戸学園都市高塚山を愛する会 / たかつか保育園 / 苔玉・苔テラリウムを楽しむ会 / 和の木(なごみのき) / 中高年から始めるらくらくピアノ / NPO法人こどもコミュニティケア / 家族のアルバムを作るママの会 / けいとだま / ひまわりの夢企画 / あそび探検隊 / 子育てサポートNPO法人ぴっぴ / しんわだい文庫 絵本かふえ / YMCA保育園 / salon de 音楽 / かば☆うま / (株)U-Force(ユーフォルス) / 特例認定NPO法人まなびと / リルルズ(riruru*s) / コミュニティ いいばしょ / ゆっくりハイキングクラブ神戸 / 一社)Babyガーデン / 神戸つながるママの会 / Heart Global 神戸サポーターズ / パステルアート*sorari* / 生活クラブ生協 / アテンドクルーウェスト神戸 / おしゃべりカフェ ほっこり / 七丁目クラブ / いきいきカフェ 滝の茶屋 / あさたにダーツの会 / SING / camy / mama comi+(ままこみプラス) / すず カフェ倶楽部 / Tarumi International Exchange Group / アテンドクルーひかり / すずめの会 / かもめスタイル / アテンドクルー 白川 / おうちカフェ みゅーず / NPO法人希望の架け橋 / 苔玉クラブ / 産後ケア☆ママキラ / Fuwari~ふわり~親子で楽しむリトミック広場 / M.Y.S. Kobe(メイクユースマイル神戸) / ママの働き方応援隊 神戸西校 / CUERPO~クエルポ~ / 親子サポート KOKOIRO / やすらぎキララ / Q's vegetables / 久保みずきレディースクリニック / 生活協同組合コープ自然派兵庫 / Tsumugi. / イキイキ調和くらぶ / コミュニティ ぐらん / choicefull*チョイスフル / こ・ねくすと Co-Next / ARTLABO / 楽農応援隊 / おうちパン教室recimier(レシミア) / ホープの会 / 癒し処 ぬくもり / みんなの家 セラビィ / リズム・ダンス教室 Happiness / Apricot Farm 梅 / おしベジタブル / みなとこうベキッズマネースクール / ともの心こきゅう / かめライフサポート / ルッチョラ(79団体/登録順)

まちづくりスポット神戸では常駐しているコーディネーター(4名)の他、26名の有償ボランティアスタッフがそれぞれ関心のある分野で運営に関わっています。



まちスポスタッフと事務所ボランティア



グリーンクルー



図書クルー

まちづくりスポット神戸は地域で暮らす人々の地域のための活動をサポートする目的でBRANCH神戸学園都市に開設され、大和リース(株)と認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸が協働し運営しています。

▶ **まちづくりスポット神戸** TEL | **078-797-7833**

〒655-0009 神戸市垂水区小東山手2-2-1 BRANCH神戸学園都市内

FAX | 078-797-7844

MAIL | machispo@cskobe.com

URL | https://machispokobe.com

ごあいさつ

ここでつながる ここからはじまる

皆さんの地域活動をサポートします！

2013年12月6日にランチ神戸学園都市内にオープンしたまちづくりスポット神戸。7年が経過し、これまで神戸市西部エリアに住む方々の地域のための活動をサポートし、また人と人や、地域の様々なコミュニティをつなげてまいりました。

相談やさまざまな講座を通じてグループが誕生し、現在の登録会員は79団体となり、多様な分野での活動者が多く集う場所となりました。一方、新型コロナはまちスポ神戸や関係する方々に甚大な影響を及ぼしており、活動の縮小を余儀なくされていますが、新たな活動の動きが生じた一年でもありました。コロナ禍でオンラインに活路を見出す団体も多くあり、まちスポ神戸としてもオンラインに関する相談やサポートを積極的に行いました。また、2020年度は前年度に比べて相談とマッチングの件数がかなり増加しましたが、コロナの影響で多くの地域課題が表出したことで、自ら活動を始め方が多く見られたことが特徴です。

2021年度においても、「誰もが居場所と役割がある社会」を引き続き目指し、活動のサポートを行なっています。

- 総参加者数 29,245人
まちスポ来館者数 8,880人
予約図書受取コーナー/まちスポらぼ来館者数 18,194人
- 主催講座数 49講座 (講座参加者数のべ714人)
- 登録会員 79団体
- 設立をサポートした団体 7団体
- 相談件数 154件



きっかけづくり

▶ 情報発信

まちづくりスポット神戸ではWEBサイトやSNSを使って登録会員の活動や地域の情報をお知らせしています。2020年度はFacebookに加え、LINE公式アカウントやInstagramを開設しました。また、WEBサイトも大幅にリニューアルし、まちスポ神戸の活動だけでなく、登録会員さんの活動も発信できるようになりました。ぜひ、一度ご覧ください♪

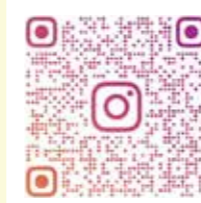
LINE公式アカウント



WEBサイト <https://machispokobe.com>

Facebook <https://www.facebook.com/pg/MachispoKobe>

まちスポ Instagram



まちスポらぼ Instagram



▶ まちそだて相談

まちづくりスポット神戸では活動を始める時の「なにかから始めたらいい?」「やりたいことはあるけど上手く言葉にならない」そんなご相談から活動中のグループの運営相談まで、地域活動にまつわる様々なご相談をいつでも受け付けています♪

相談件数
154件

設立 9件	マッチング 29件
運営 35件	情報提供 3件
助成金 15件	その他 8件
活動・相談 48件		

4~5月は相談数が少なかったものの、コロナの影響で浮き彫りになった地域の様々な課題を「なんとかしたい」と動き出した方からの相談が多く寄せられました。

2020年度は相談から新たに、高齢者のための出張理容とマッサージの活動を行う団体や、古民家での子育てひろばを運営する団体など、7つの団体が立ち上がりました。マッチングによって、相談者が活動場所を見つけたり、活動の幅をひろげるサポートにも力をいれました。また、コロナ禍において、「会える時も、会えない時も、つながる地域活動のススメ」をキャッチコピーにオンラインなんでも相談やパソコン・スマホお悩み相談を開催し、25件の活動サポートを行いました。その結果、多くの団体がZoomやSNSを使った活動に取り組むことで、活動方法の選択肢が広がっています。

ひとそだて・仲間づくり 学びと出会いをコーディネート！

Withコロナ時代における感染症勉強会

開催日 2020年6月18日(木)

~安心して活動続けるために~

参加者 17名

新型コロナ感染症への正しい情報を知り、活動再開にむけての対策を学ぶために、おち内科クリニックの越智院長を講師に迎えて感染症勉強会を開催しました。講演後はいまの気持ちやコロナ禍で取り組んでいる工夫をシェアするグループワークを行いました。「気持ちが前向きになった」「再開にむけて具体的な方法を考えたい」など講座後は参加者の笑顔が増えたことが印象的でした。



「気持ちが前向きになった」「再開にむけて具体的な方法を考えたい」など講座後は参加者の笑顔が増えたことが印象的でした。

Withコロナでも繋がり続けるための居場所交流会

開催日 2020年12月11日(金)

参加者 13名

コロナ禍でどんな出来事や話し合いが再開に踏み出す原動力になったのでしょうか?「カフェいばしょ」浅野さん、「乙木ワイワイきっちん」吹田さん、「大きな木 こども食堂」高垣さんらにコロナ禍で居場所づくりの活動を続けるためのアイデアや考え方をお話していただきました。また、コロナ禍で気づいたことを参加者同士で共有することで、活動のふりかえりにも繋がりました。



LINE公式アカウント活用講座

開催日 2020年8月30日(日)

参加者 9名

オンラインツールを活用した運営をサポートするため、学生教育団体LearnBoの協力を得て、LINE公式アカウント活用講座を開催しました。ツールの活用を通して、活動者がやりたかったことが具現化され、満足度の高い講座になりました。講座後もまちスポスタッフが継続的にツールの整備をサポートしました。



不登校のお子さんを持つ親のおしゃべり会

開催日 2021年3月8日(月)

参加者 8名

新年度が始まる時期に学校が一斉休校になり、子供達にも大きな負担がかかった1年となりました。お子さんが学校にいけない事で悩む保護者も多く、緊急課題と認識し企画しました。子供の不登校を経験した親として地域での子育て支援や学習塾経営をされてきた先輩ママ、「ゆるり家」濱田理恵さんをゲストに地域子育て応援プラザ垂水にもオブザーバーとして参加していただき悩みを相談する時間となりました。継続開催のお声をいただき、当事者の方々が場の運営を始めています。

第7期居場所コーディネーター養成講座

開催日 2020年10月27日(火)11月5日(木)11月10日(火) 全3回

参加者 9名

グループディスカッションを通じて、居場所の担い手を育成し、地域の居場所開設につながる目的で続けてきた居場所コーディネーター養成講座は7年目を迎えました。

- 1日目 おしゃべりカフェ「ほっこり」杉原さん 新長田多文化共生ガーデン 金さんに事例発表をいただき、グループワークで感じたことを共有する時間を持ちました。
- 2日目 居場所見学として、「COMUカフェ」で開催。ホープの会代表の古谷さんのお話とやりたいことを形にするプラン作りに取り組みました。
- 3日目 コト・デザイン角野さんより空き家活用の制度や事例についてお話いただきました。

今回は居場所を運営するための基本知識やノウハウを学ぶだけでなく、ウィズコロナでもできる「屋外活動」に焦点を当て、空き家や空き地の利活用についてもテーマとしました。



はじめてのライター講座

開催日 2020年9月7日(月)14日(月) 全2回

参加者 8名

合同会社ユブネの東義仁さんを講師に迎え、ライターの入門講座を開催しました。基礎編では文章の種類や目的に応じた書き方、取材対象へのインタビューの仕方や視点などを学びました。実践編では「あなたらしい素材を見つけよう」をテーマに施設内を歩き、記事を作成、まちスポ神戸のSNSにアップするまでを丸ごと一緒に体験しました。受講生の中から、まちスポのイベントレポートを担うライター有償ボランティアが誕生しました。



地域 ふれあいまつり in BRANCH **開催日** 2020年10月17日(土)18日(日) **実行委員会** 21団体(学生団体1) **お手伝いボランティア** 7名
参加者 2日間のべ1,274人 **共催** ブランチ神戸学園都市

毎年、まちスポ神戸の登録会員の交流と地域への活動PRを目的に開催されてきたふれあいまつりも2020年度は規模を縮小し2日に分けて開催しました。実行委員会も感染拡大予防のため小さなグループに分けて実施しましたが、その結果会員同士の交流が密になり、自然と助け合いが生まれるなど良い面もありました。

当日は日頃の練習の成果をステージで披露したり、活動を知ってもらおうと工夫をこらしたワークショップを開催したり、それぞれが地域の人々と交流しながら楽しんで活動していました。本部やステージでは神戸医療者応援ファンドへの募金活動を行い、同ファンドに8,502円を寄付しました。お手伝いボランティアさんの協力のおかげで、ステージ観客やブース参加者の検温や椅子の消毒などの作業もスムーズに行うことができ、安心・安全にふれあいまつりを開催することができました。ステージ運営には神戸市の取組である「KOBE学生地域貢献スクラム」より学生ボランティア3名も参加しました。今後もちいさくても心のつながりを大切に、地域との連携企画をすすめていきます。



地域 ~どなたときでも~まなぼうさい **開催日** 2021年3月7日(日) **主催** まちづくりスポット神戸 **共催** ブランチ神戸学園都市
協力 垂水消防署 垂水消防団, 流通科学大学Libro, 舞子高校環境防災科, かば☆うま

コロナ禍の中でもできること、として広報活動をメインに実施しました。垂水消防署、垂水消防団、かば☆うまのコラボで生まれた子供むけの防災体操「ぼうさい忍者」の歌と動画はぼうさいの取り組みを広げるツールとして今後も活用していけるものができました。流通科学大学Libroや舞子高校環境防災科は展示協力になりましたが、今後も引き続き一緒に防災を地域で考える活動に取り組んでいきます。



高校 兵庫県立神戸商業高校連携 「手作り石鹸ワークショップ」「四季めぐりすごろく」

開催日 2020年11月7日(土) **参加者** 158人

高校3年生が「課題研究」の授業の中で企画したワークショップと展示を行いました。廃棄食材を使用し、地域資源を身近に感じてもらうための取り組みとして「手作り石鹸ワークショップ」を、商工農連携の課題として子供達に四季を感じてもらう「四季めぐりすごろく」を企画し、地域の子供達を楽しみました。



企業 川崎重工業(株) 電動3輪ビークル「ノスリス」試乗会

開催日 2020年11月28日(土)29日(日) **参加者** 97人

高齢者等、地域の人々の足になる安全な乗り物として川崎重工業さんが開発中の電動3輪自転車「ノスリス」の試乗会を開催しました。100件近くのアンケートを回収、兵庫県立大学・當間ゼミが分析し、地域の生の声を製品開発の現場に届けることができました。企業xNPOx大学の新たな連携の取組となりました。



大学 流通科学大学附属図書館サークルLibro 絵本の読み聞かせ

開催日 2020年12月20日(日) **参加者** 25人

2019年度はまちスポらぼで毎月読み聞かせ活動をしていましたが、場所が狭く密になることから、2020年度はブランチ神戸学園都市施設内で地域の親子むけに絵本の読み聞かせを行いました。オープンな場所で子供が楽しめるよう工夫がみられました。



大学 神戸市外国語大学教育団体LearnBo クイズラリー「怪盗ブラザーズからの挑戦状」

開催日 2020年9月20日(土)21日(日) **参加者** 2日間のべ252人

学生教育団体のLearnBoがコロナ禍でもできることをしたいと企画し、まちスポと協力して開催しました。「楽しみながら学ぶ」をコンセプトに子どもたちとの交流を大切にしながらの運営が好評でした。コロナ禍の社会で孤立しがちな大学生の活躍の場、つながりの場にもなりました。



予約図書受取コーナー・まちスポらぼ

▶ 予約図書受取コーナーとは？

神戸市とCS神戸の協働により、神戸市では初となる商業施設での予約図書受取コーナーを2019年8月より受託しています。ここでは、神戸市のネットワークサービスで予約した本を受け取ったり神戸市の図書館で借りた本を返却することができます。日々の業務は「本が好き」で集まった図書クルー(有償ボランティアスタッフ)が中心となって運営しています。

コロナの影響で休室や縮小など、変化に対応しながらの運営となりました。ステイホームが求められる中で本の需要は根強く、たくさんの利用者が訪れました。コロナ禍でも楽しめる仕掛けとして、「かえっこの本棚」を設置。家から不要な本を持ち寄り、本棚の本と交換するというシンプルな仕組みですが、図書の受取・返却の際に本棚を覗いてくださる方も多く、年間494人の利用がありました。

- 開室時間
 - 火・木・金 10時~15時
 - 土・日 12時~17時
- 年間開室日数……220日
- 貸出人数……13,697名
- 貸出……36,507冊
- 返却……40,582冊



▶ まちスポらぼとは？

予約図書受取コーナーに併設された交流スペースです。本を読んだり、小さいお子様が遊べるキッズスペースも設置しています。何かやってみたい人が気軽に挑戦できる実験場(ラボラトリー)として、イベントやワークショップを開催しています。

まちスポらぼも半年近く利用が止まり、子どものためのキッズスペースも1年間利用を中止しました。7月には「本と人をつなぐアイデア会議」をオンラインで企画し、そこから2つの企画が立ち上がり活動を始めました。また、コロナ禍で子どもの居場所作りの必要性を感じ、10月からは神戸市外国語大学学生教育団体LearnBoと「放課後アソビ基地」を週に2回設置。大学生との協働事業に取り組みました。今後も予約図書を利用されている方との接点、利用される方同士をつなぐことを含め出会いの場作りに注力していきます。

- 年間開室日数……232日
- 利用者数……18,194人

主催・共催イベント

サポーター募集オンラインイベント / 筆ペンであそぼう会 / 大人のための絵本講座 / 放課後アソビ基地



コミュニティルームの運営

商業施設の中で出合いやつながりが生まれる場として運営している多目的スペースです。新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、4月~5月は貸出を中止しました。緊急事態宣言解除後は、健康チェック、換気、飛沫防止用パネルの設置、定員を以前の半数にするなどの対策を施し、活動の安全をサポートしつつ運営を行いました。登録会員の活動をはじめ、新規で利用を希望する方も多く、コロナ禍の中でも地域の人々とながら活動場所として、多くの人が利用しました。

- 利用件数……602件
- 利用人数……6,977人



グリーンクルー

グリーンクルーは、ブランチの低木の植栽管理を担っている有償ボランティアで、活動開始から3年が経ちました。シニアを中心に現在13人の方が新たなコミュニティとして活動しており、樹木の管理や植栽会社の手が回らない日常の水やり、草取り、花壇・プランター等の手入れをしています。四季折々の草花は来館者の目を楽しませています。2020年度は生物多様性保全の取り組みにも力を入れました。近くの高塚山から採取した在来植物のプランチへの移植と腐葉土作りを、淡路景観園芸学校、高塚山を愛する会、商業施設との連携のもと、取り組みました。

